普及活動情勢報告（平成２８年１１月分）

中央西農業振興センター　高知農業改良普及所

もうすぐ収穫です！　～高知農業高校での出前授業～

ラッカセイの実入りの状況確認

10 月 27 日、高知農業高校で生活総合科の 3 年生を対象に、2 回目の牧野野菜の講習会を行いました。6 月 9 日の 1 回目の授業から牧野野菜のハッショウ豆とラッカセイをほ場に定植し栽培を続けています。9 月の台風の影響を乗り越え、鳩やカラスよけのネットを被せて霜が降りる頃の収穫に備えています。今回は、収穫作業の方法や TeamMakino の牧野野菜栽培の取り組み状況、12 月 13 日に開催する伝統野菜のセミナー・商談会について説明を行いました。収穫した牧野野菜の加工・販売について協議し、情報収集しながら取り組むことになりました。

高知県の西部地域の先進地研修を開催！　～第 2 回集落営農塾（平坦部）～

熱心に話を聞く参加者

11 月 4 日に、第 2 回集落営農塾（平坦部対象）で先進地研修を開催し、11 名が参加しました。今回は、組織化講座として「坂の川農業改良組合」（須崎市）と「(農) 四万十川営農組合」（四万十市）を訪問し、各組織の設立までの経緯や地域に合った活動について話を伺いました。参加者から多くの質問があり、「自分の地域での集落営農のヒントが見えた」等の意見が聞かれ、地元での活動に活かされそうです。

今後も普及所では、座学や研修を織り交ぜて、集落営農組織の育成を支援していきます。

「ユズの将来計画を教えて下さい！」　～ユズ生産者へのアンケート調査の実施～

アンケート調査実施中

11 月 11 日に、土佐山のユズ搾汁施設で、酢玉を出荷に来た生産者にアンケートを実施しました。土佐山・鏡地域のユズ生産者の年齢や栽培規模など現在の経営状況や今後のユズ栽培への取り組み、課題などを直接聞き取りました。それを知り、課題を洗い出し、どのような対策が立てられるかを検討し、10 年後の産地のあるべき姿を示す産地構造改善計画に反映させていきます。

今後も、普及所は関係各機関で構成する「ユズチーム会」等を通じて、ユズ産地の維持・発展に支援していきます。

「これからのイチゴの管理は？」　～ＪＡ高知市介良苺部会、現地検討会の実施～

栽培管理の説明をする普及員

11 月 17 日、JA 高知市介良支所において、イチゴ現地検討会が開催され、部会員 11 名が参加しました。各部員のほ場巡回を行い、生育や炭そ病の発生状況を見ながら意見交換を行いました。普及所からは、11 月～12 月の厳寒期における、光合成産物の転流を意識した栽培管理の説明をしました。参加者からは、基本管理の大切さの認識や病害虫の薬剤抵抗性に関する質問、ハダニの IPM 技術を使った防除方法についての意見があり、これからの管理について認識が深まりました。

普及所では、厳寒期からのイチゴの安定生産のため、今後も巡回・調査等を通じて栽培技術指導を行っていきます。

「春野での農業の仕方、プロが教えます！」　～高知市移住体験ツアー

作業の手ほどきを受ける参加者

11 月 19、20 日に高知市移住・農業体験ツアーが開催され、関東や関西、県内などから 5 名が参加しました。

ツアーでは、JA 高知春野キュウリ部会の担い手確保に向けた就農支援の説明、ハウス訪問や出荷場見学など、春野での就農のプロセスを学びました。ハウスでは、指導農業士の手ほどきでキュウリ収穫作業などを体験しました。交流会では、先輩移住就農者や受入農家から地域や農業への思いを聞き、就農への具体的な相談などで盛り上がりました。今回は移住担当課と産地が連携した初めての取組で、移住向けの賃貸物件の見学もありました。

普及所では、引き続いて生産部会や関係機関と連携し、産地の担い手確保を支援していきます。